



令和5年度 幼児教育研修（資質向上 松山ゼミ 第2回）

「見直そう 計画と記録」

日時：令和5年7月27日（木）15：00～17：00

会場：上沼田保育園

講師：和泉短期大学 教授 松山 洋平 氏



前回の研修を受けて、それぞれの園でチャレンジした計画や記録を持ち寄り、研修が行われました。

グループワーク

「チャレンジしたことを話す」

- 話す!聞く!
- 話していない人は、模造紙に記録する。
→落書き記録。殴り書きでOK。

ポイント

文字は少なく、文章は短く。



可視化



グループワークを通して、研修生が気付いたこと

写真を使うと
分かりやすい。

自分が見れていなかった
ことが見えた。

書いてあるから
こそ、振り返るこ
とができた。

(取り組んでみて)
子どもの姿がよく見
えるようになった。

(子どもの姿など)
何かあったときに書
き足していけるのが
良かった。

(書き足しているうちに)
紙が足らなくなった。

味わう話ができた。

今までの話は「〇〇した。」で終わっている。

話の中に、「ここをもっと知りたい!」

「もっとこうしたい!」が出てくるといい。

今ある姿をどうしていきたいか?につながる。

そして、「遊びをもっとこうしたいな!」が見えてくると...

それが次への援助になる!!



保育者の見取りが次の援助へ

次のねらい、保育者の関わりが次の準備につながっていきます。

そして、自分の見方が変わると、対話・援助が変わってきます。



次回の研修は、自分の取り組むテーマを決めて記録や計画を作り、それを持ち寄り研修を行います。

研修生の
報告書より

週案の振り返り・評価をする際に、子どもたちが遊んでいる姿を記録した写真を活用したことで、翌週の指導案を作成するときにも、子どもの姿が分かりやすくなった。また、子どもの遊び、今何に興味をもっているのかがより見えるようになり、職員間での意見交換もしやすくなった。

今ある姿をどうしていきたいか。と考え、配置の変更や玩具の準備等を進めていった。どうしたいかという目標が明確になることで言葉かけや遊びへの誘い方が保育者自身分かりやすくなり、具体的なものとなった。